

復興市を終えて

私は今回初めて被災地へボランティアをしに雄勝に行きました。初めて目にした被災地はテレビ画面を通して見るよりも心が痛みました。地震で崩れてしまった住宅や津波で流された住宅は今では土台も砂利になり、跡形も無く片付けられ更地状態になっていました。以前ここには多くの家々が連なっていたと聞きましたがその風景は元来何も無かったのではないか、と思わされ、たくさんの笑顔が溢れていたことが信じがたい光景でした。

しかし、ガソリンスタンドや電柱が残っていることでそこに人々が暮らしていたことを実感させられました。

現地では主に復興市のお手伝いをさせて頂きました。復興市では地元の商店街の方を中心に商店や地元の特産物、屋台、子供向けの催しなどがテントを出してお店を開いていました。また、現地の子供たちによるソーラン節やアーティストの方の演奏、紙芝居なども行われます。私たちが担当したのは抽選所では、500円のお買い物で一枚の抽選券が引き換えられるのに対し、5枚、10枚に引き換えて下さるほど、たくさん買い物をして下さった方が多くいらっしゃいました。皆さんこの復興市を楽しみにされていてこの日の為にお金を貯めて使うとのことでした。私たちは慣れない作業に休む暇もないほど忙しく、正直なところ疲れましたが雄勝の方々がとても明るく優しく接して下さいだったので、その忙しささえも苦にならないほどでした。

小学生以下の子供たちには駄菓子とスーパーボールや縄跳びなどもプレゼントしました。その時たくさんの子供たちと交流しました。みんな元気でボランティアをしに行った私が逆に元気を貰いました。

また、雄勝の方々の「雄勝を元の雄勝に戻したい」という気持ちに触れ、一度のボランティア活動ではなくまた足を運び少しでもその想いのお手伝いができたらなと思いました

